



決算レポート

2019年6月期

株式会社 カワニシホールディングス
(証券コード：2689)



アジェンダ

- **会社概要**
- **2019年6月期 業績概要**
- **2020年6月期 業績見通し・配当の基本方針**
- **市場動向と中期展望**
- **コーポレート・ガバナンス**
- **参考資料**



会社概要



会社概要

商号	株式会社カワニシホールディングス
本社	岡山市北区下石井一丁目1番3号
創業	大正10年（1921年）5月
設立	昭和42年（1967年）10月
代表者	代表取締役社長 前島 洋平
資本金	607,750千円
従業員	1,189名（連結・2019年6月末）
決算期	6月末

創業

1870年
岡山藩医学館大病院
開設がはじまり



1922年
県病院（元藩医学館）から
岡山医科大学付属病院に

倉敷中央病院
1923年開設

岡山大学病院
1922年開設

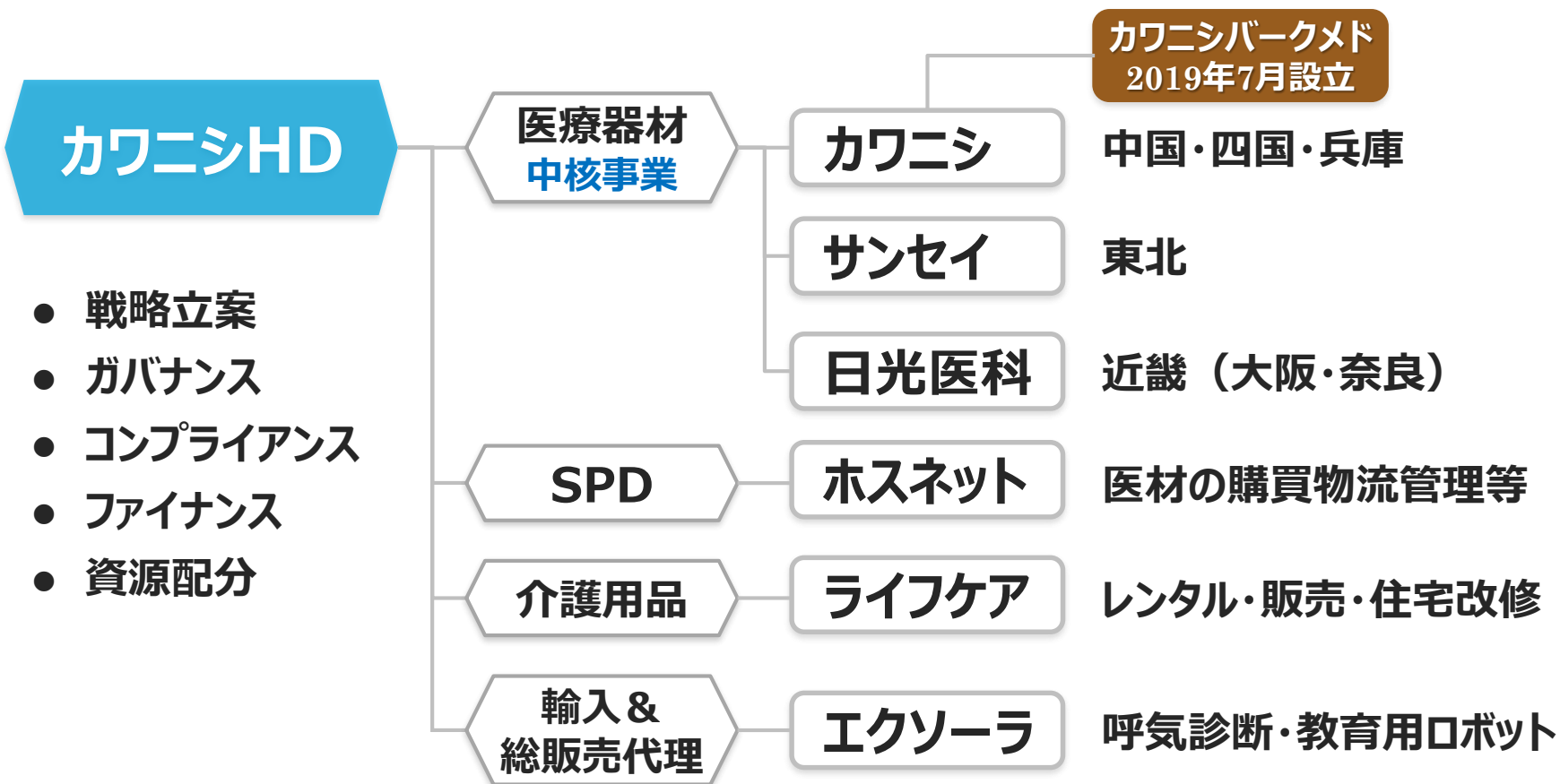
川西器械店
1921年創業

地域医療の発展とともに成長

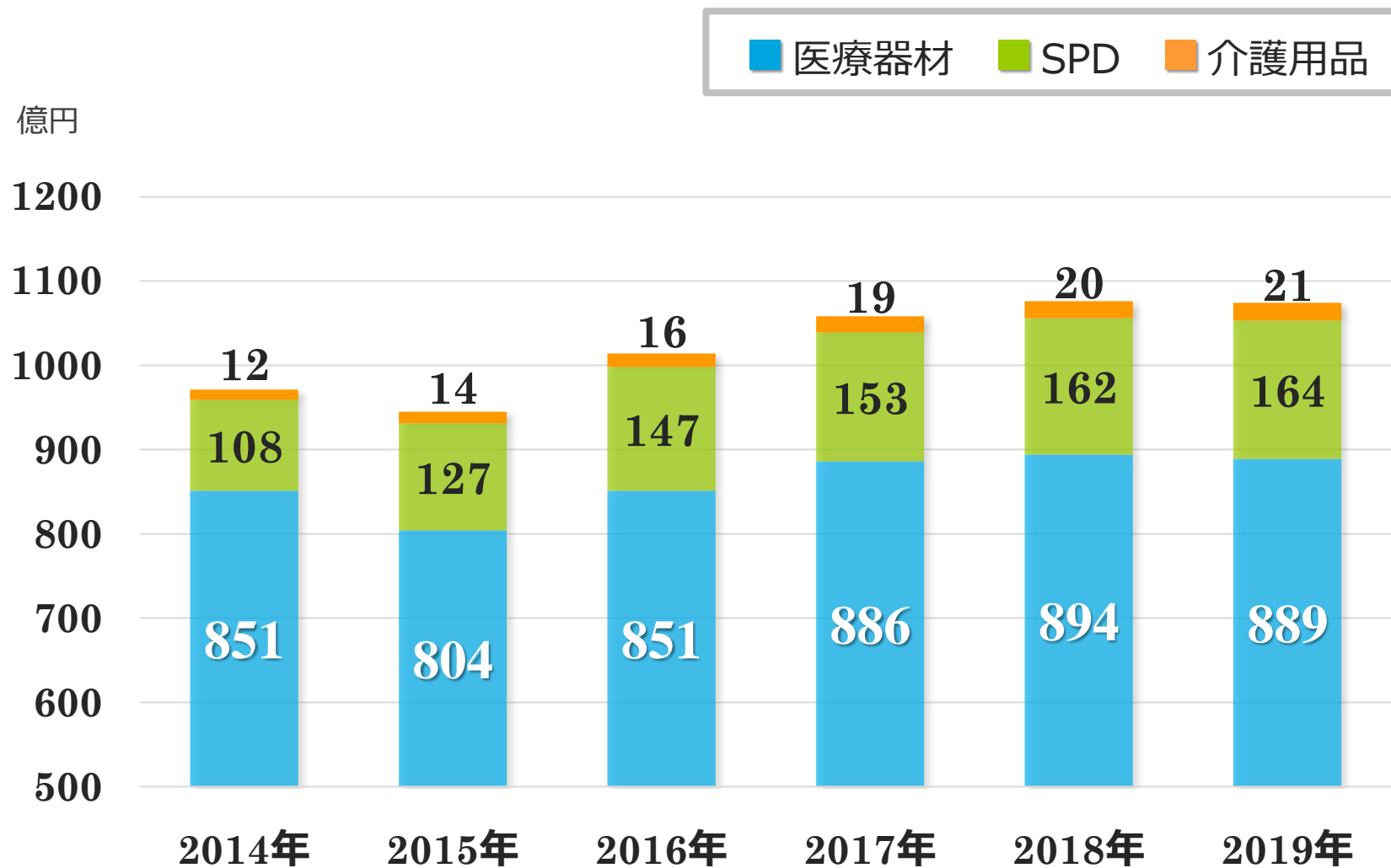


グループ各社の概要

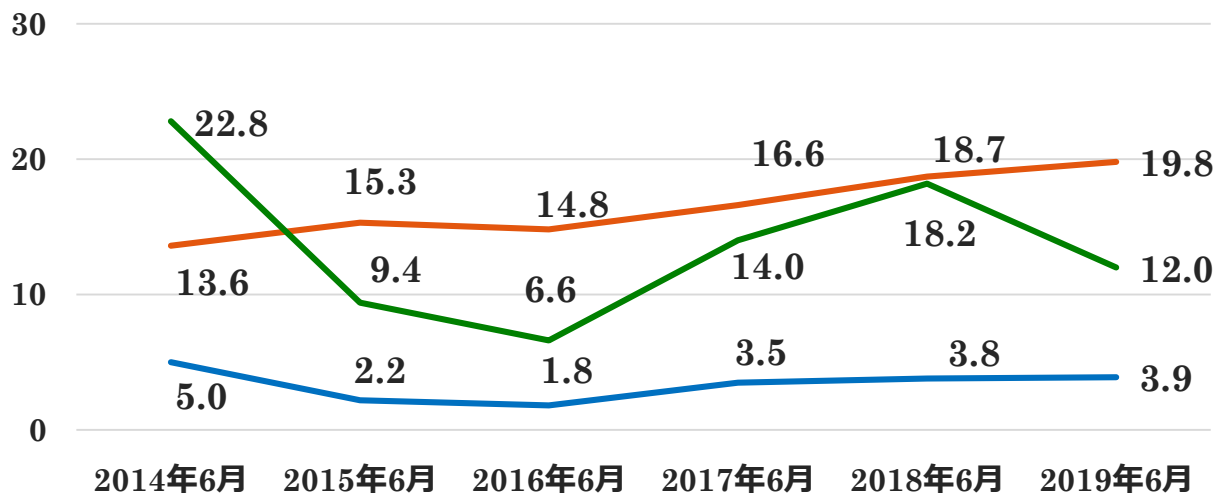
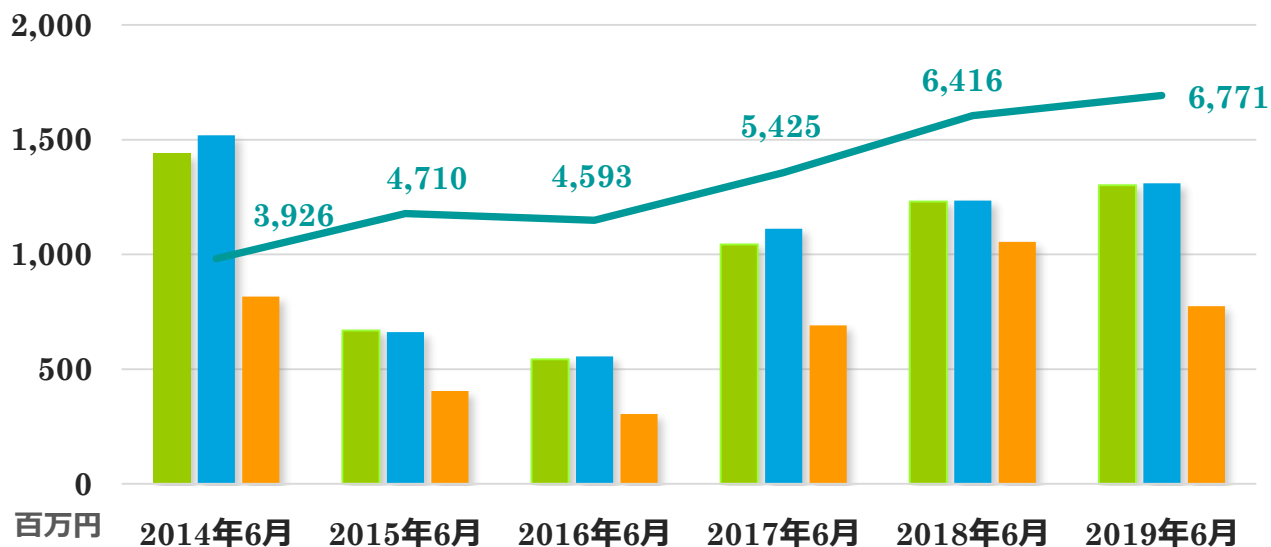
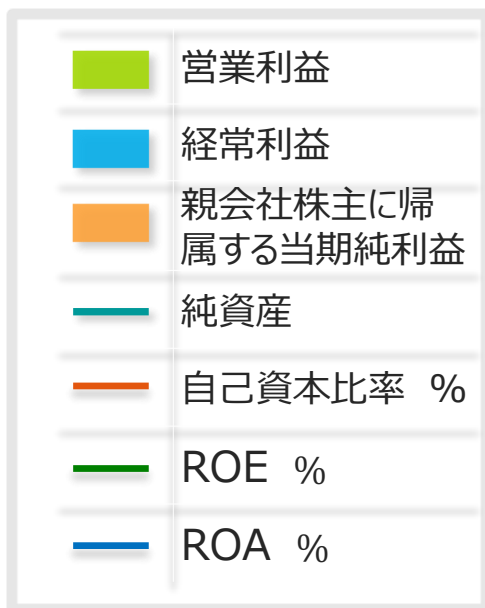
整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ



事業別売上高推移



連結経営指標の推移



医療機器卸売業界内ポジション（2019年8月時点）

社名・グループ		本社	売上高
メディアス HD	(東1)	東京都	1,977億円
セイエイ・エル・サンテHD		愛知県	1,928億円
ムトウグループ		北海道	1,801億円
宮野医療器グループ		兵庫県	1,083億円
カワニシホールディングス	(東2)	岡山県	1,074億円
アイティーアイグループ		長崎県	828億円
キシヤグループ		福岡県	642億円
ヤマシタヘルスケアHD	(東1)	福岡県	615億円

※各社の売上高は、株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑 2019年版 No.3 卸・小売編」より当社推計、又は各社が開示している連結売上高を集計。

強み

■ 専門志向

- 顧客との信頼関係
- メーカーとの協力体制
- 人材教育
- 整形トップシェア
- ブランド性

■ 生産性向上！

- デジタル営業ツール
- 情報共有システム
- 物流システム開発中

■ 成長領域・川上 を志向！

- 新市場開拓、収益性アップ°

【当社】
大都市圏の低シェア

【業界全体】
物流管理・IT化の遅れ

弱み

社員憲章 事業経営の社会的意義

- 広く国家・社会的視野において公益性を高め、国民医療の品質向上とコスト合理化に寄与することを志す。
- 臨床・基礎両面にわたる医療の発展と、顧客の経営能力向上への貢献を志す。

理念

- 革新的な新機能・新技術の恩恵を患者と医療機関に適切に提供する。

国民の、健康寿命の延伸に寄与する

医師の立場から

『ビジネスを通じて、医学・医療の発展に貢献する』

学術本部, 社員教育, 医工連携



代表取締役社長
前島 洋平

岡山大学大学院
医学研究科修了

医学博士・腎臓内科専門医

SDGs (Sustainable Development Goals)



2015年国連総会で採択された
「我々の世界を変革する
：持続可能な開発のための2030アジェンダ」
と題する成果文書で示された具体的行動指針

当社としてのSDGs活動



ミッション



先端医療機器
開発/導入



医工連携
産官学医連携



2019年6月期 業績概要

	百万円	予算比	前期比
売上高	107,428	△3.1%	△0.2%
売上総利益	11,136	△2.0%	+1.0%
売上総利益率	10.37%	+0.12	+0.13
販管費	9,835	△2.1%	+0.4%
営業利益	1,301	△1.8%	+5.7%
経常利益	1,309	△2.0%	+6.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	775	△10.0%	△26.5%

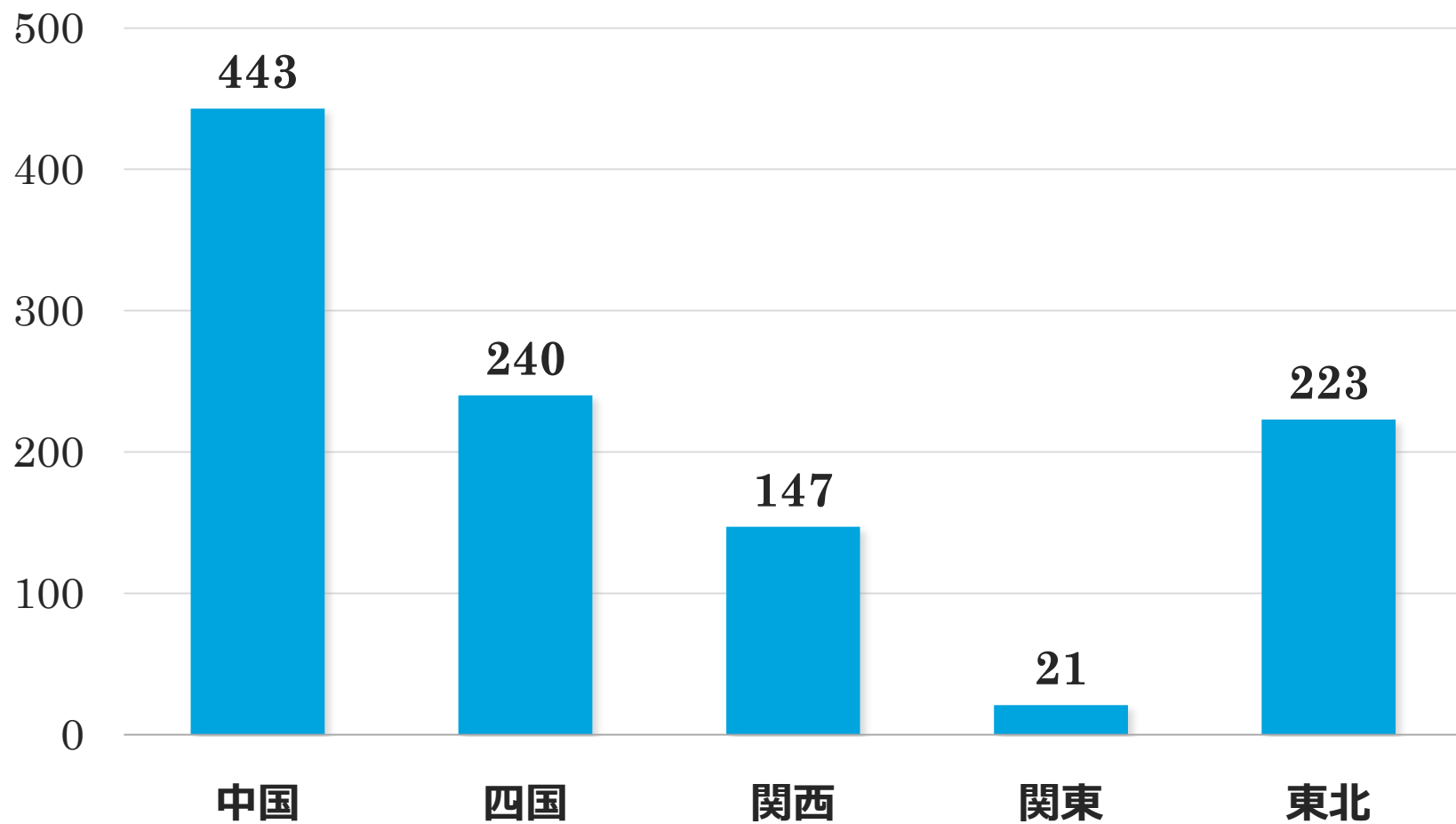
当期純利益の減少要因

- ・2018/6 特別利益計上(退職給付制度終了益)
- ・2018/6 繰延税金資産見直しによる税負担減
- ・2019/6 特別損失(役員退職慰労金、減損損失)

1株当たり当期純利益
138.24円



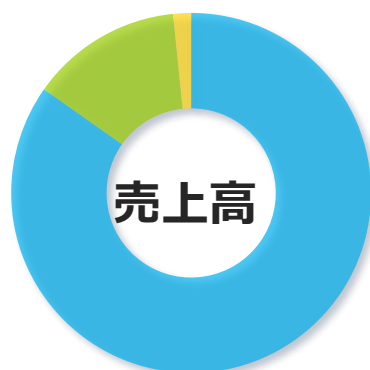
地域別売上高（億円）



2019年6月期 事業別業績

医療器材事業の売上高構成

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	95,042	Δ3.4%	Δ0.6%
営業利益	1,366	Δ6.7%	+8.0%



医療器材〔83.6%〕

百万円	売上高実績	前期比
カワニシ	61,718	Δ0.6%
サンセイ医機	24,118	Δ0.9%
日光医科	9,226	Δ0.5%

※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

医療器材事業(消耗品売上高)

売上高832億円
前期比 +1.2%

百万円

エリア	売上高	前期比増減	ポイント
中国	33,091	+0.5%	<ul style="list-style-type: none"> ●手術関連 2.8%増 中国2.3%増 (鳥取23.5%増) 東北4.1%増 (宮城110.5%増) 糖尿関連17.5%増 ●整形 1.0%増 広島・兵庫新規受注、福島症例増 四国失注1件 ●循環器 2.3%減 償還価格改定の影響 ABL4.5%増、TAVI関連49.4%増
四国	17,179	+0.6%	
関西	13,457	+0.6%	
東北	17,651	+3.2%	
関東 他	1,895	+4.0%	

*1 ABL：頻脈の原因になる異常な電気興奮路を焼灼または冷凍で遮断する治療

*2 TAVI：人工弁を低侵襲に留置する治療



医療器材事業(備品売上高)

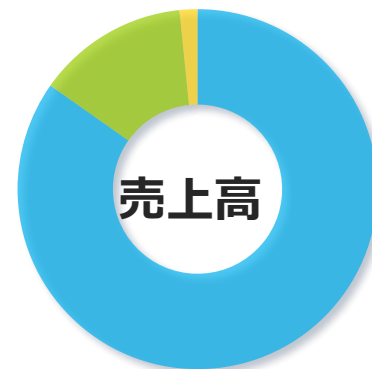
売上高117億円
前期比 ▲12.8%

百万円

エリア	売上高	前期比増減	ポイント
中国	3,461	△5.4%	<ul style="list-style-type: none">● 大型の画像診断機器 (CT・MRI・超音波診断置) は新規・更新案件ともに堅調● 四国、東北地方では前期の特需規模に届かず減収
四国	2,739	△18.8%	
関西	1,037	+3.6%	
東北	4,413	△16.0%	
関東他	75	△54.1%	

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	16,556	Δ0.5%	+1.3%
営業利益	77	+51.7%	+29.2%

SPD〔14.6%〕



- ◆ 新規に契約した施設が順調に稼動
- ◆ 業務プロセス（サービス）及び管理料の見直し

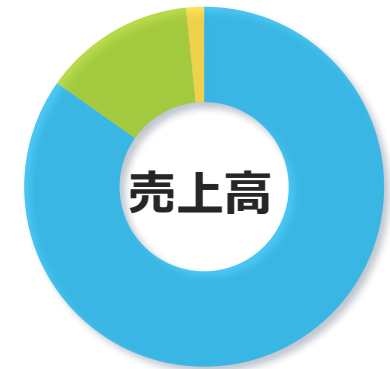
契約総数

直接 60件
F C 13件

※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	2,097	△5.5%	+3.1%
営業利益	92	△19.6%	△19.0%

介護用品〔1.8%〕



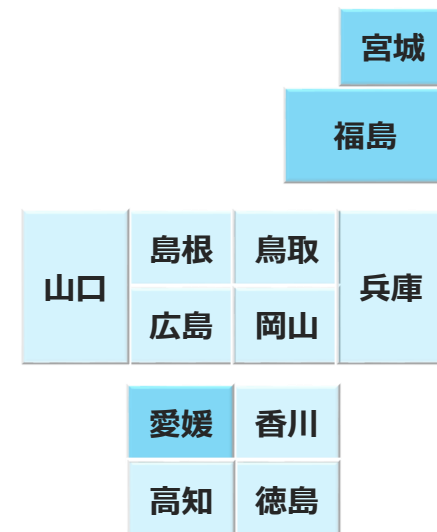
◆新規開拓 前年同期比

福島県 7%増 宮城県13%増 愛媛県 8%増

◆在宅レンタル用品 前年同期比 5%増

◆介護・療養型施設への器材販売順調 5%増

◆営業体制強化に向けた人員増等により費用増



※各セグメント売上高はセグメント間内部売上高含む

連結貸借対照表

百万円

資産	金額	増減
現金・預金	1,119	△296
売上債権	21,292	902
商品	4,656	62
その他	663	△296
流動資産計	27,731	372
有形固定資産	3,809	55
無形固定資産	428	186
投資その他資産	1,803	△276
固定資産計	6,040	△33
資産合計	33,772	338

負債・純資産	金額	増減
仕入債務	21,800	88
短期借入金	1,446	△288
その他	1,817	38
流動負債計	25,065	△161
長期借入金	815	488
その他	1,121	△342
固定負債計	1,936	145
負債合計	27,001	△15
純資産合計	6,771	354
負債純資産合計	33,772	338

1株当たり純資産 1,191.62円

※増減は前期末比

連結キャッシュフロー計算書

	百万円	18年6月期	19年6月期
税引前利益		1,381	1,181
減価償却費		315	361
減損損失		—	86
売上債権の増減額(△は増加)		△1,569	△902
たな卸資産の増減額(△は増加)		△262	△62
仕入債務の増減額(△は減少)		622	88
その他		△802	△616
営業キャッシュフロー		△314	136
有形固定資産取得による支出		△222	△292
無形固定資産取得による支出		△127	△250
その他		80	181
投資キャッシュフロー		△269	△361

連結キャッシュフロー計算書

		百万円	18年6月期	19年6月期
	短期借入金の純増減額 (△は減少)		300	△500
	長期借入れによる収入		-	1,100
	長期借入金の返済による支出		△320	△400
	配当金の支払額		△168	△224
	その他		△39	△38
	財務キャッシュフロー		△227	△62
	現金・現金同等物の増減額(△は減少)		△810	△288
	現金・現金同等物の期首残高		2,169	1,359
	現金・現金同等物の期末残高		1,359	1,070



2020年6月期 業績見通し・ 配当の基本方針

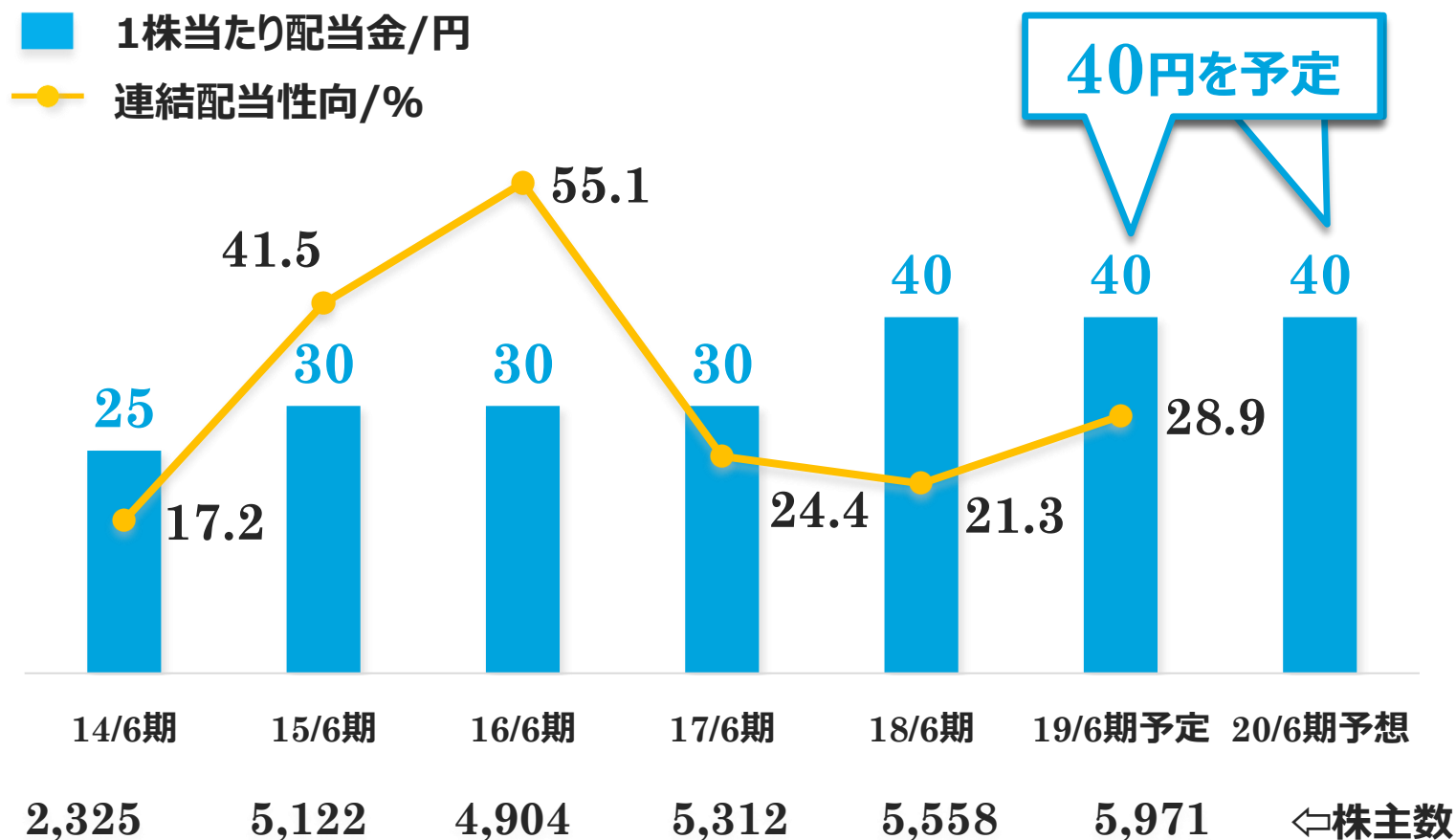
	百万円	前期比
売上高	110,520	+2.9%
売上総利益	11,657	+4.7%
売上総利益率	10.55	+0.18
販管費	10,403	+5.8%
営業利益	1,254	△3.7%
経常利益	1,265	△3.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	837	+7.9%

輸入販売事業での先行費用増
既存事業では順調な成長見込む

1株当たり当期純利益
予想 149.12円

配当の基本方針

- ① 安定的な配当を継続します
- ② 成長投資に備え内部留保に努めます



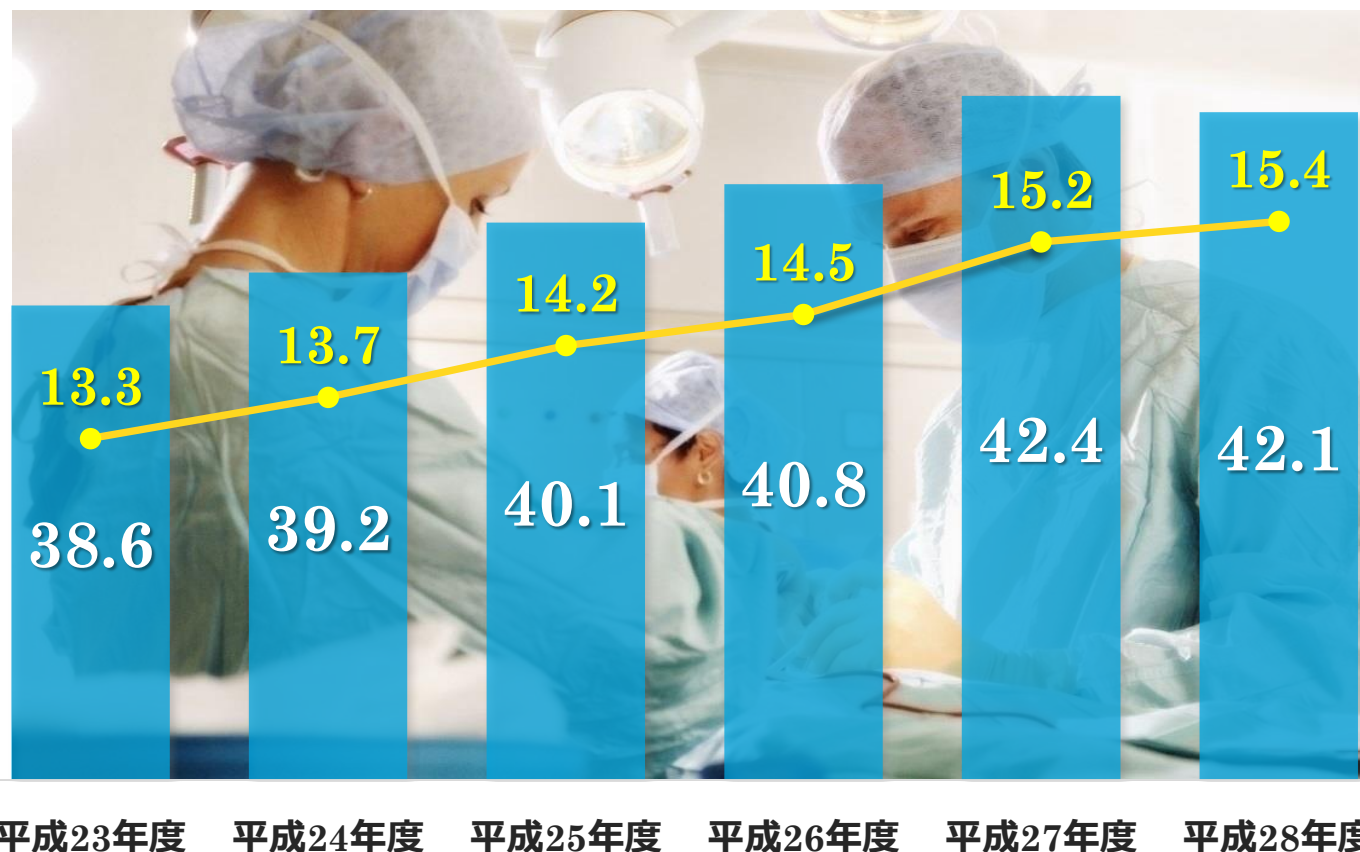
市場動向と中期展望

日本の国民医療費の動向

◆ 2017年は42兆円を超える

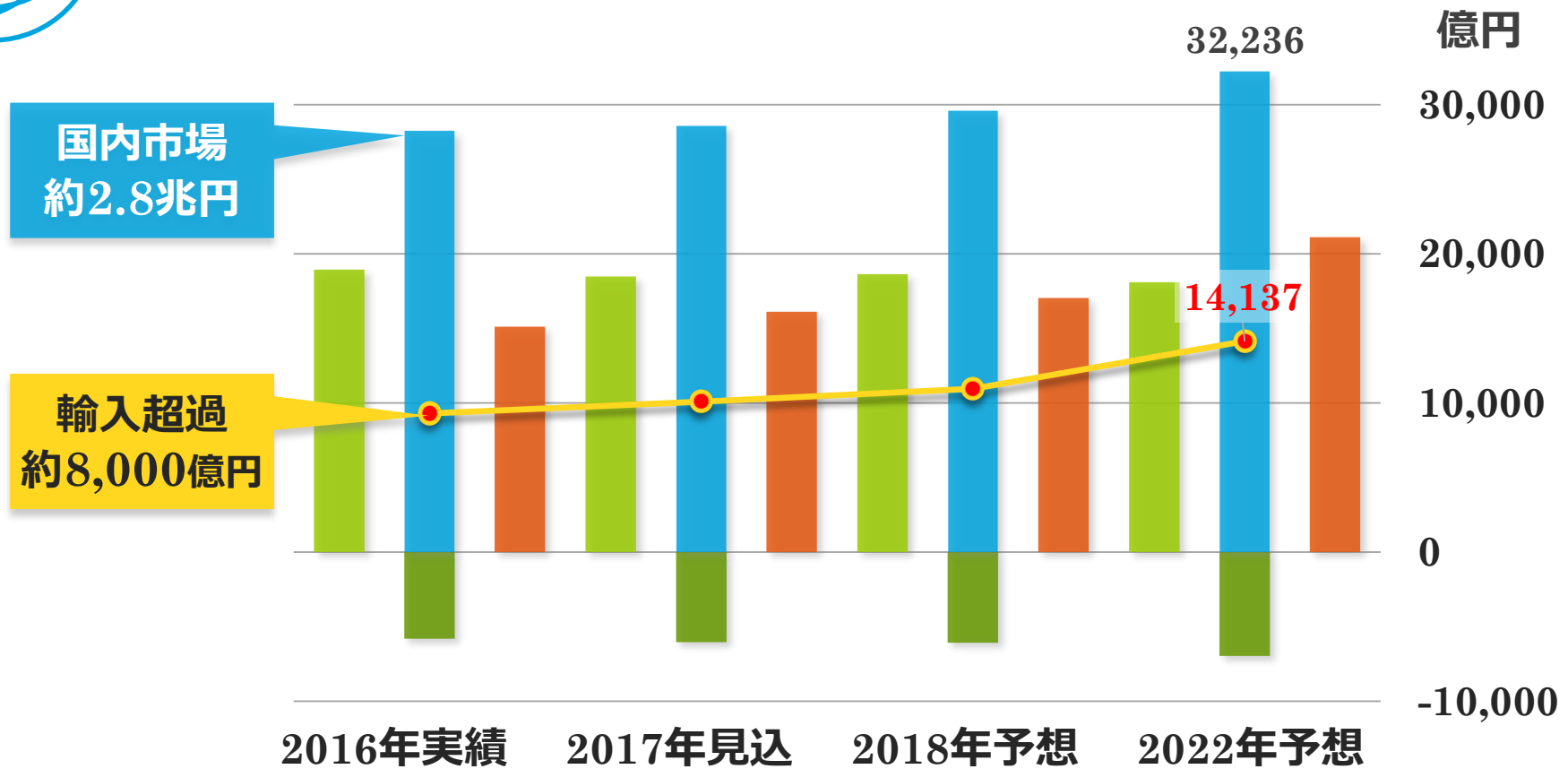
◆ 継続的な医療費抑制策・・・費用対効果も検証

■ 医療費
● 75歳以上
単位：兆円



厚生労働省 最近の医療費の動向 - 2018年9月公表

医療機器市場



年平均 成長率 2017-2022	■ 国内生産	■ 輸出	■ 輸入	■ 国内市場	● 輸入超過
	▲0.4%	2.9%	5.5%	2.4%	—

2016年薬事工業生産動態統計 2017年以降みずほ銀行 産業調査部予測

日本人医師の **巧** の手技 × 日本のものづくり企業の **匠** の技

国家プロジェクト マネージャー：北野正剛学長（大分大学）、前島洋平（KWHD）



経産省 関東経産局 地域中核企業創出支援事業
H28/29/30年度 採択



国産医療機器を、日本人医師による手術等の
動画コンテンツと共に海外の医師等に紹介

医療・介護の行政動向

	2017	2018	2019	2020	2021
償還価格		4月改定	● 10月改定	● 4月改定	
消費税 10%			● 10月増税		
病床再編			● 病床機能報告制度見直し 急性期・回復期・慢性期 急性期の基準手術件数等		
R-SUD 単回使用品 再製造	7月制度施行	ホギ・メドライン参入	製造承認？ 保険償還価格設定？		
介護保険	保険見直し 利用者負担増	7月レンタル 平均価格公表 上限規制			

中期経営計画の重点テーマと経営指標

(2020年6月期～2022年6月期)

中核事業の労働生産性向上

サービス品質向上と
料金の適正化

IT化推進・業務効率化

物流合理化

人員配置の適正化

仕入改善／売価統制



新たな収益源の獲得

新ビジネス

輸入販売
エクソーラ

クリニックビジネス
KWパークメド

サブスクリプション

医工連携



2022/6期 売上高 **1200** 億円
目標 営業利益 **20** 億円

働き方改革・人材育成

100周年記念事業

マネジメント教育

健康経営

人事制度改定

残業削減・有休取得



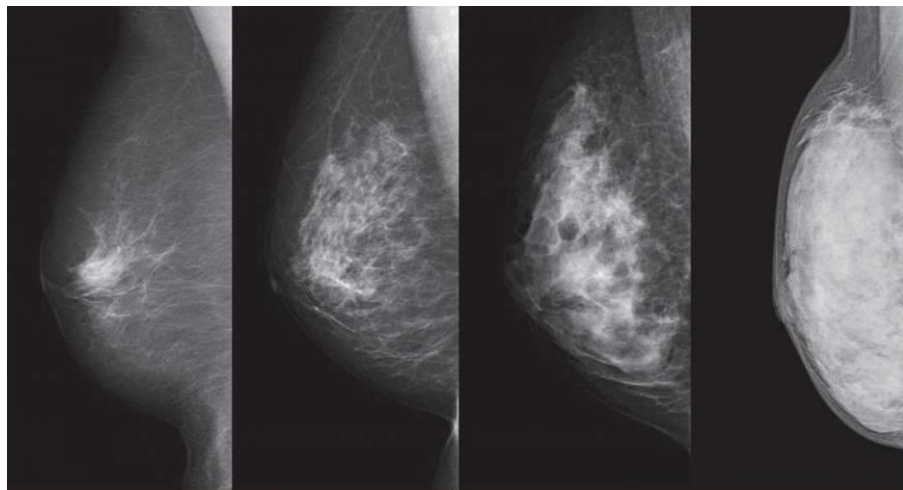
年間9万人発症、**13,000人が死亡**

40代最多（欧米では60代）

高濃度乳腺が多く、マンモグラフィー検出率71%

超音波検査の併用により検出率が91%に改善
乳がん健診受診率も低い **41%**（50～69歳）

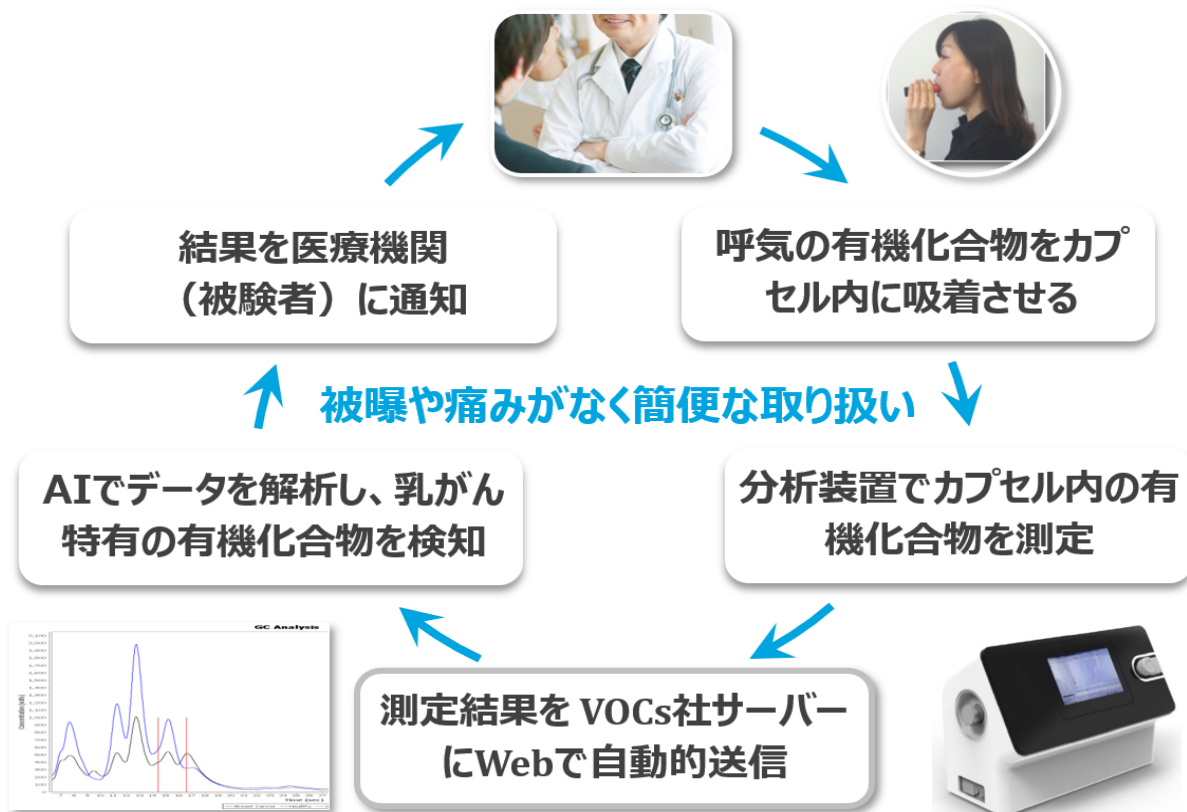
—2015年: OECD Health Data—



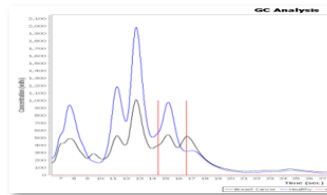
高
濃
度

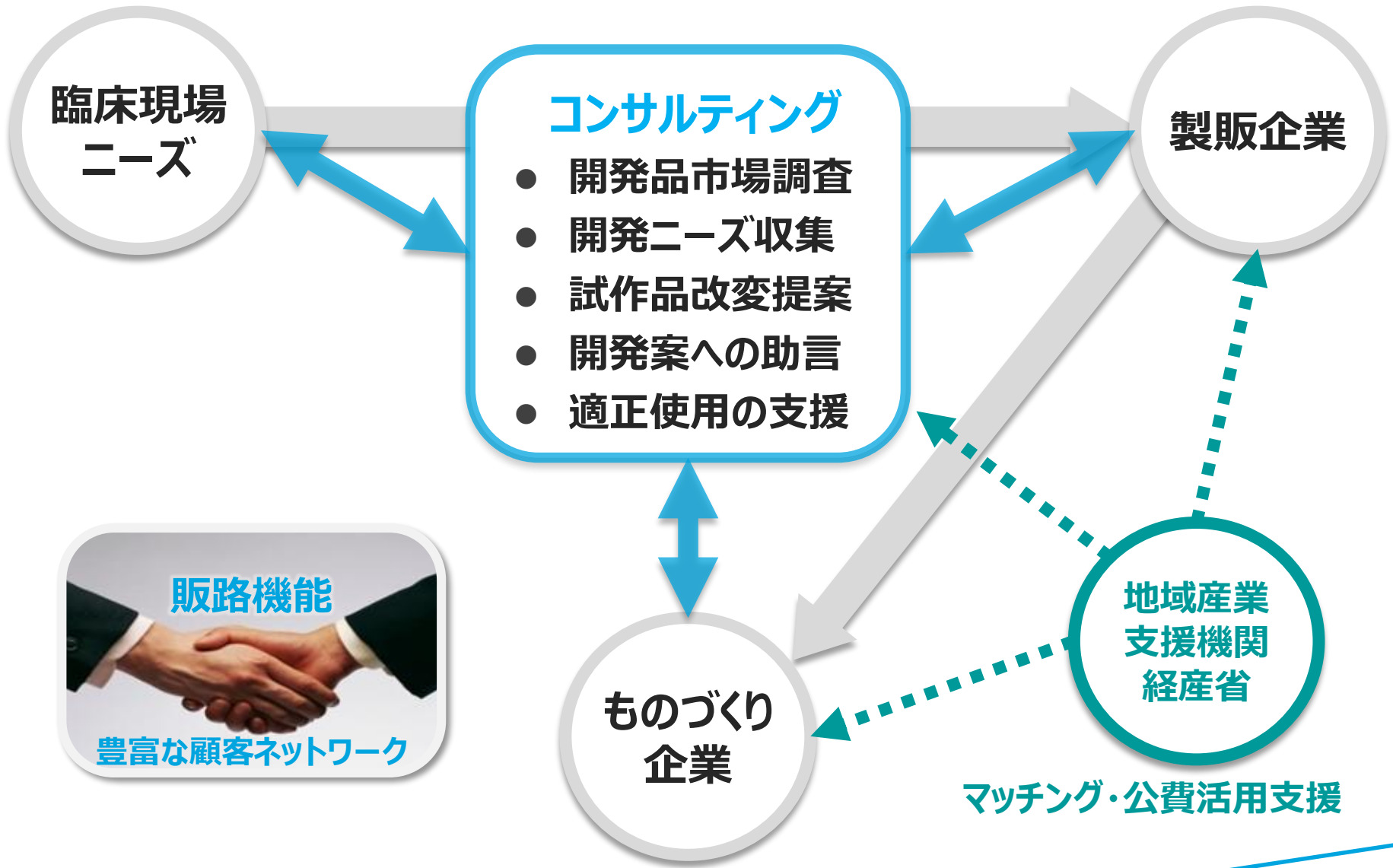
※NPO法人乳がん画像診断ネットワークより
<https://bcin.jp/topics/51.html>

2018年	2019年	2020年	2021年
実証試験	AI解析・VOC特定	臨床試験	審査 → 承認～市販予定



*VOC : volatile organic compounds
揮発性有機化合物



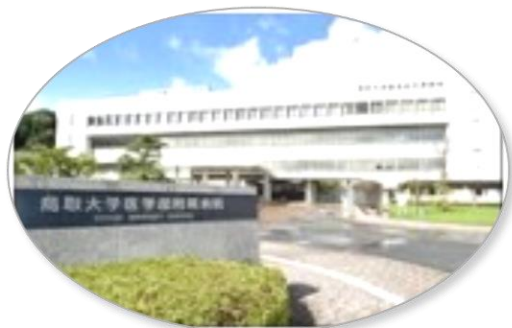


開発製品の 販路開拓支援



「Gaglessマウスピース」
販路開拓

個別研究会 組成・実施



鳥取大学内ニーズ評価
システム構築サポート

医の芽ネット

中国地域
医療機器関連産業
参入フォーラム

ニーズ発掘 開発案件創出



倉敷中央病院ニーズ発信会
2018/2

開発製品の 市場調査



mikoto市場調査

株式会社 MICOTOテクノロジー
 医の芽ネット 販路開拓支援商談会案件

国内総販売代理店
 EXSOLA エクソーラ・メディカル



シングルタスク



マルチタスク



NEW

大腸モデル

		2019実績	~2022計画
シングルタスク	経鼻・経口/気管挿管	9	26
マルチタスク	経鼻・経口/気管挿管・内視鏡検査・喀痰吸引	1	6
大腸モデル	大腸内視鏡	—	54
特注仕様	頭頸部モデル・小児気管挿管	8	—



動画のページ

海外医療情報誌

Medical Globe 100号

発行(株)カワニシホールディングス

海外情報は、クラリベイト・アナリティクスならびに
AHC Media LLC.と提携し、同社の誇る最新
 の
 グローバル情報の中から厳選したコンテンツを、日本
 語版のダイジェストで提供しています。

2010年10月創刊

購読先 医療機器メーカー・医療機関・大手製薬会社・大手シンクタンク



日本医工ものづくりコモンズ MINCの会 「海外医療機器の最新動向勉強会」



Medical Globeを参考に、

海外の最新の医療機器情報について多業種間で情報を共有

医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・

当社編集部が参加、意見交換 〈2017年10月～スタート〉

第11回 : 2019年9月4日 NCGM (国立国際医療研究センター) で開催



**超高解像度
(2Kの16倍)**

- 健常な組織の温存
- 手術器具の干渉軽減
- 術者のストレス軽減

**Key
Opinion
Leaders**

既存地域
+
新地域

デモ 20施設28診療科完了

購入予算申請

5

レンタル希望

4

レンタルプラン (症例課金などの支払い方式もある)

基本料金

60ヶ月
750千円

~

1ヶ月
1,026千円



KWショールーム



OP室デモ



学会展示

da Vinci サージカルシステム



手術台
SOT-100
Vercia™



川崎重工業 webサイトより

内視鏡
スコープホルダー
EMARO



ホギメディカル webサイトより

保険適用 (従来)

前立腺がん全摘術

腎がん部分切除

2018年4月拡大

1. 縦隔悪性腫瘍手術
2. 良性縦隔腫瘍手術
3. 肺悪性腫瘍手術
4. 食道悪性腫瘍手術
5. 弁形成術
6. 胃切除術
7. 噴門側胃切除術
8. 胃全摘術
9. 直腸切除・切断術
10. 膀胱悪性腫瘍手術
11. 子宮悪性腫瘍手術
12. 腔式子宮全摘術

携帯型ポンプでインスリンを皮下に持続的に注入する（保険適用）

- ◆ 持続血糖測定（CGM） アボット・Dexcom（テルモ）
- ◆ インスリンポンプ Medtronic・テルモ
- ◆ SMBG消耗品 ロシュ

インスリンの注射（1日4回）に比べ
低血糖状態が少なくなるなど、
血糖コントロールが効果的に行える



Dexcom Webサイトより

グループ血糖管理売上高 前期比17.5%増





(株) カワニシバークメド

EPARKと合併（2019年7月設立）

クリニック・医院（中国地方）をメインターゲットに
EPARK 予約システムを導入



EPARK

患者の利便性向上 外来繁忙時間の平準化

株式会社EPARK
（光通信子会社）

- 会員数2500万人
- 多種多様な業種にITソリューション提供
- 順番待ち受付サービス 国内トップシェア

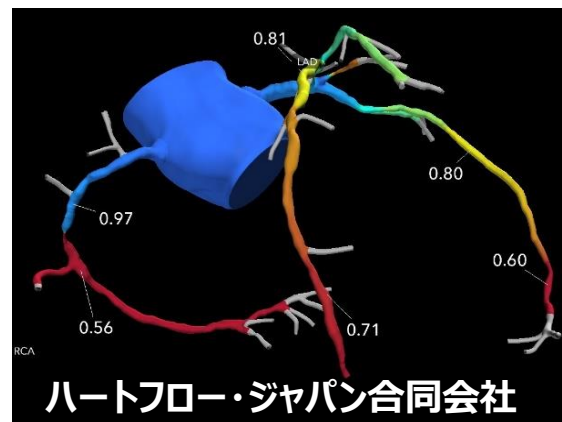


アメニティサポートシステム



1セット単位で紹介手数料

ハートフローFFRCT データ解析



ハートフロー・ジャパン合同会社

2018年12月 保険収載

物流統合システムを **Li-Flo(リフロ)** とネーミング
2020年5月にKWの拠点を順次稼働→グループ会社展開

物流統合システム

LiFlo

在庫管理強化

- ・荷姿の管理
- ・簡便な倉庫移動

品質管理強化

- ・鮮度管理
- ・サンプル品等の管理

貸出業務効率化

- ・ハンディで使用売上
- ・短時間社外棚卸



入荷検品時のRFID活用も視野

健康経営への取り組み

- ・「健康経営優良法人2020」認定へチャレンジ
- ・残業削減&有休取得
- ・就業時間内禁煙 & 禁煙サポート(2019年7月～)



マネジメント教育 (カワニシ・ビジネススクール中級篇)

- ・初級管理職向け
集合研修 (人・組織マネジメント)
e-learning (会計・マーケティング)



SPD事業・介護用品事業



●RFIDによる業務の見直

⇒2025年 RFIDタグ @2円程度予測

⇒病院物流研究へ

導入効果：棚卸・出庫検品等の効率化大

●サービス見合う管理料（アップ）

⇒収益性改善

●販売型SPDシステム開発

⇒中小病院向け

⇒病院自主運用でコスト低減

●急性期の薬剤管理SPD受託

●OCR（光学文字認識）

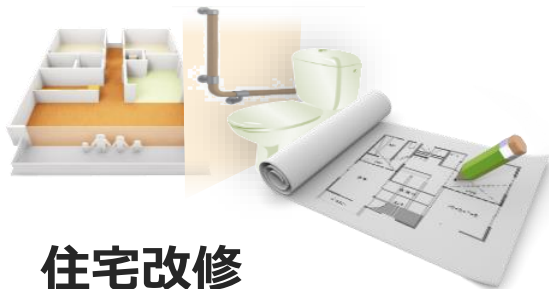
⇒業務集約と効率改善

地域包括ケアシステム「施設から在宅へ」

地域の実情に応じて
高齢者が住み慣れた地域で
有する能力に応じて
自立した日常生活を営む

- 医療
- 介護
- 介護予防
- 住まい
- 生活支援

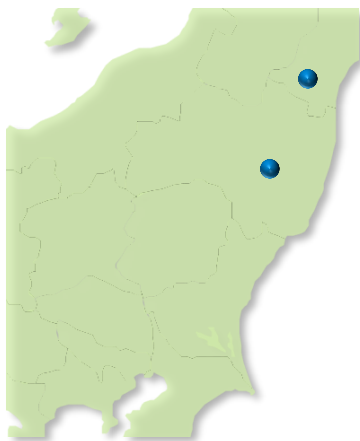
回復期病床 & 地域医療連携室へ 在宅医療機器ニーズへ対応



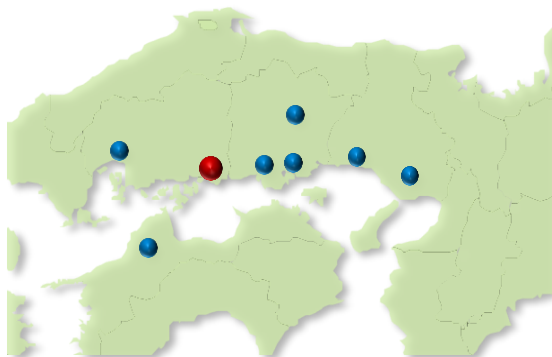
住宅改修



介護保険外商品拡販



営業基盤拡大



既存エリアシェアアップ

- 地域展開再開（新規・既存両エリア）

2019年7月 西広島支店開設

- レンタルサービス

⇒ 拡販協力製品・新製品の投入
（利益率改善）

⇒ 車椅子メンテ強化（業界認定整備士拡充）

⇒ 撤退同業社の利用者引き受け

- 住宅改修自社施工

⇒ 在宅復帰需要・保険外工事獲得

コーポレート・ガバナンス

1. 指名・報酬委員会の機能追加

①. 設置の目的追加

- ・取締役、監査役及び執行役員の指名に関する審議
- ・取締役及び執行役員の報酬等に関する審議
- ・取締役経験者の顧問等の契約内容の審議 **(追加)**

②. 「指名・報酬委員会」のメンバー構成変更 **(赤字)**

- (1) 代表取締役社長、取締役管理本部長、**社外取締役 2 名**
- (2) 委員長 社外取締役

2. 「社外役員会議」の設置

- ・社外取締役と社外監査役間での当社の経営上課題等に関する情報交換等
- ・重要会議体の運営の監視監督

参考資料



連結経営指標等の推移①

項目	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6
売上高	百万円	97,137	94,515	101,460	105,778	107,663	107,428
営業利益	百万円	1,440	668	543	1,044	1,230	1,301
経常利益	百万円	1,519	662	556	1,112	1,235	1,309
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	816	405	305	690	1,054	775
純資産	百万円	3,926	4,710	4,593	5,425	6,416	6,771
総資産	百万円	28,958	30,738	31,049	31,774	33,617	33,772
BPS	円	699.75	839.59	818.77	942.77	1,121.32	1,191.62
EPS	円	145.54	72.23	54.49	123.10	187.86	138.24
自己資本比率	%	13.6	15.3	14.8	16.6	18.7	19.8
ROE	%	22.8	9.4	6.6	14.0	18.2	12.0
ROA	%	5.0	2.2	1.8	3.5	3.8	3.9
PER	倍	7.79	18.27	20.83	12.71	8.42	9.77

連結経営指標等の推移②

項目	単位	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6
営業CF	百万円	926	△2,113	710	871	△314	136
投資CF	百万円	△401	△388	△705	△99	△269	△361
財務CF	百万円	△2,885	626	△208	△741	△227	△62
現金及び現金同等物	百万円	4,171	2,296	2,092	2,169	1,359	1,070
有利子負債	百万円	1,888	2,691	2,676	2,081	2,061	2,261
従業員数	人	1,082	1,141	1,203	1,179	1,163	1,189
うち医療器材	人	783	826	860	875	860	868
うちSPD	人	146	152	167	166	155	163
うちライサイイン	人	41	40	41	-	-	-
うち介護	人	79	94	102	107	113	122
うち輸入販売	人	-	-	-	2	2	2
うち本社	人	33	29	33	29	33	34

※2017/6より、ライサイイン事業は医療器材事業に統合しています。



会社情報・問い合わせ先

【事業年度】	毎7月1日から翌年6月30日まで
【定時株主総会】	毎年9月開催
【上場証券取引所】	東京証券取引所（市場第二部） 証券コード 2689
【単元株式数】	100株
【お問い合わせ先】	株式会社カワニシホールディングス 常務取締役管理本部長 村田 宣治 TEL：086-236-1115 FAX：086-236-1116

- 本資料で提供されている情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 資料に掲載された意見や予測は、資料作成時に入手可能な情報に基づく当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についても何ら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もあります。
- 本資料は、当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。投資に関する最終的な意思決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。